



〔写真〕 9月28日東部保育所運動会のスナップ

老報 にわらぜん

発行 富山県入善町役場
印刷 池原印刷所

No. 141

昭和43年10月15日発行

体育の秋

天高く馬肥ゆる秋……。秋は体育の季節です。生活の基本である健康や体力に関心をもち、その健康や体力にふさわしいスポーツ、運動に親しんで、健康な心身をつちかきましょう。

10月

今月のこよみ

- 1日 統計記念日 法の日
赤い羽根運動はじまる
- 6日 仲秋の名月
- 10日 体育の日
目の愛護デー
- 11日 秋の交通安全運動はじまる
- 13日 たいまつまつり
- 14日 鉄道記念日
- 15日 秋季祭礼
- 17日 貯蓄の日
- 23日 明治百年記念式典
電信電話記念日
- 27日 読書週間はじまる

人	口	28,662
	(男)	13,473
	(女)	15,189
世帯数		6,502
10月1日	住民登録数	

9月町議定会定例会

第二十四回入善町議定会定例会は、九月三十日午前九時三十分か

ら開かれ、昭和四十三年度一般会計補正予算案など十一案件と

請願陳情九件について審議をした結果、請願一件、議案一件を

継続審議としたほかは全案件とも可決採択されました。

決算特別委員会

委員長に中易議員

教育委員 奥田泉 両氏を再任

▽昭和四十三年度一般会計補正

予算 歳入歳出予算の総額に一千四百九十九万七千円を追加し、総額を六億七百八十九万八千円としました。

追加されたおもなものは、歳入では電気ガス税百五十万円、地方交付税六百六十万円、農業構造改善事業の県補助金百九十七万円、自動車取得税交付金三百万円などです。

歳出では、じん芥焼却炉改修工事費百五十万円、新屋地区の農業構造改善事業施設費補助二百万円、道路改良工事の町負担金百万円、上野住宅の建設工事費七十五万円、人事院勧告に伴う町職員の給与の増額分五百万円などがあります。

▽昭和四十三年度簡易水道特別会計補正予算

二十八万九千円を追加し、歳入歳出の総額を二百萬四千円としました。

これは前年度からの繰り越しなどによるもので、給水工事請負費などにまわりました。

▽昭和四十二年度決算

決算の審議については、決算特別委員会を設置し、その中で慎重な調査、審議を進めた後、本会議にかけることになりました。選出された決算特別委員会のメンバーは次のとおりです。

- 委員長 中易 清
○副委員長 岩場正三
○委員 車 憲一 福沢忠命
立塚清作 亀田盛開

採択された

請願と陳情

- ・新国道、旧国道連絡線町道舗装について 古黒部地区
・入善中学校技術室拡張並びに後庭整地拡張について
・入善中PTA
・県道入善、吉原線および吉原青木線の拡幅改良について 吉原地区
・可搬式小型ポンプの配置について 青木地区
・救急自動車の常設について 黒東交通安全協会
・簡易水道新設補助について 入善第11区
・沿岸漁業構造改善事業(漁船漁具保全施設)に対する助成について 吉原漁業協同組合

・地方税における青色専従者完全給与制の昭和四十四年分より実施について
全国青色申告会総連合会

▽教育委員会の委員の任命

九月三十日で任期が満了する現委員の奥田新作、泉俊一の両氏をそれぞれ再任しました。



(奥田新作氏)



(泉 俊一氏)

自慢の牛くらべ

酪農乳用牛共進会ひらく

入善町酪農共同組合は、九月第四回乳用牛共進会を開きました。この日集まった乳用牛は、飼育農家が日ごろ精を出して育てている自慢の牛三十五頭で、厳重な審査の結果、次のみなさんが入賞されました。

- ◎経産の部
優等賞 久保清松(桐山)
一等賞 長島健作(桐山)
二等賞 中易 清(新屋)
◎未經産の部
優等賞 中易 清(新屋)
一等賞 井林耕栄(小摺戸)
二等賞 松原広義(小摺戸)

133人が愛の献血を

九月二十六日、中央公民館前で移動採血車「白バト号」が献血を呼びかけたところ、雨の中を百六十一人の方が申し出られるという好成績でした。このうち、医師の精密な診察を受けて、貧血性の方二十八名を除き、百三十三人の方が愛の献血をされました。

おかげで県下の事故や病気の際の手術に大助かりで、多数の尊い生命が救われることと思えます。どうもありがとうございます。

各用水が断水

11月15日(土)29日

黒部川右岸系発電所水路の修繕と自動除じん機新設工事のため、十一月十五日から二十九日までの十五日間、入善用水と上原用水を除く各用水が断水されますので、期間中は特に火災等に注意してください。

土地改良相談所

土地改良事業に関する諸問題の具体的処理と現地指導を行なう機関として、土地改良相談所が開設されますので、ご利用ください。

- ・日時 毎月二十一日 午前十時より(定例日)
休日の場合(翌日)
・場所 魚津農地林務事務所

電話料金の支払いは

毎月二十日までに

自宅にいながら払い込みのできる銀行・農協等の口座振替制度をご利用ください。

入善電報電話局

10月17日は貯蓄の日

堅実な消費で安定した生活をきずきましよう。

ご寄附感謝いたします

Table with 2 columns: 寄附者 (Donor) and 受付金品 (Received Item). Includes names like 三尚松, 志静木, 会窓同, 輝一原, etc.



郷土の守りは 若い力で...

自衛官募集中

今日の自衛隊は若人の夢を育てる技能と知性の合理的な職場です。自衛隊で若いあなたの才能をフルに活用しましょう。

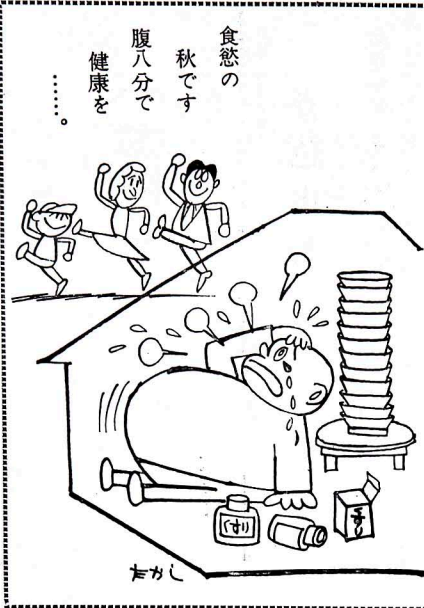
● 待遇

身分は国家公務員で衣、食、住のほか、本俸、賞与手当等を計算すると初任給でも月平均41,000円となります。

● 特典

入隊中に、電気技術や無線通信、自動車の運転、整備、測量、建築、航海、危険物の取り扱いなど、あらゆる種類の技術を身につけ免許資格を取ることができま

申し込み
受けつけ 役場 総務課



十月十一日から二十日まで、秋の交通安全県民総ぐるみ運動が展開されます。交通安全は私たちみんなの願いです。ところが県下の交通事故は、故はいろいろに減らず、ますます増加の傾向にあります。

九月末現在の県下の交通事故発生件数は五千六件で、死者九十九人、傷者五千二十七人をだしております。これは昨年同様に比べて、なんと八百八十件も上まわっており、死者八人、傷者は一千三十人もふえました。

入善署管内では、昨年同期より五十五件も多い百七十七件の事故が発生し、死者十人、傷者百六十三人をだしております。どうしてこんなに交通事故がふえるのでしょうか。

世はまさにスピード時代。レジャーブームのついでマイカー族もふえました。そして商用にレジャーにあのものをすごい交通ラッシュを見ると、事故が起きるのも当然だと考える方も多くなります。

しかし、私たち一人一人の心がけ次第で、交通事故の大半は未然に防げるはずで、交通のルールを正しく守り、事故のない明るい町づくりに努めたいものです。

○車を運転するときは、歩行者保護に徹し、飲酒運転、スピード違反などの無謀運転を絶対にやめ、安全運転の励行に努めましょう。

○道を歩くときは、自動車などの動きによく注意して、安全な

正しい交通ルールを

10月11日～20日 秋の交通安全運動

保険料は前納を

国民年金の保険料を納めるには、そのつど保険料を納めていくやり方と、年単位でまとめて前納するやり方の二つの方法があります。

季節的にお金のはいる人、たとえば農家のみなさんのように、供米代金のはいる十月に、むこう一年間の保険料を前納されますと、保険料の割り引きがありますし、一年一回というごく簡単な手続きですみます。

● 注意・ママの立話



正しい歩き方を励行するとともに、老人や幼児、身体の不自由な人の保護に努めましょう。

○会社、事業所などにおいては安全運転管理の徹底を図り、交通事故防止を最優先とした安全運行の実践に努めましょう。

第9回

町民体育大会

・日時 10月27日 午前9時
・場所 入善小学校グランド



● 競技種目

- ・ ゴールハイ・輪くぐり
- ・ 玉入れ・青年団リレー
- ・ キックボール・綱ひき
- ・ ビンおこし・順送球
- ・ 年令別リレー

販売をしている方々でも、毎月保険料を納めるのが面倒だという方、勤めの関係で留守がちな方は、ぜひこの前納制度を利用して下さい。

青色申告

経営に役立つ 青色申告

所得税は、納税者が自分で自分の所得や税額を計算して申告し、納税する申告納税制度を建前としていますが、この申告納税制度を円滑におしすすめていくためには、自分で正しい所得の計算ができるよう、毎日の記帳がどうしても必要です。特に事業所得や不動産所得、山林所得のある人は、取引の内容が複雑で、その金額や回数も多いので、帳簿を備えて、これに毎日の現金収支や売上げ、仕入れ、経費などを正確に記帳しておくなければ、正しい所得の計算はできません。

そこで、正確な記帳をおすすめする意味で、自分で正しい記帳をして所得や税額を計算できる人には、所得の計算上いろいろ有利な取扱いをする制度が設けられています。

この制度は、確定申告のときに青い色の申告用紙を使うところから、青色申告制度と呼ばれており、昭和二十五年に設けられてから、ことしで十九年目に数えます。この間、青色申告者の数はしだいにふえ、ことしの三月現在では、卸、小売、製造

みんなの知識



業などの営業や、医師、弁護士などの自由業を営んでいる人で百三十二万人、その普及割合は六十八割になっていきます。

このように青色申告者の数がふえたのは、税に関する関心が高まるとともに、青色申告が単に税金の面で有利であるばかりでなく、その基となる記帳によって事業の状況がよくわかり、経営の合理化などの面でも大いに役立つことが理解されてきたためと考えられます。

そこで、まだ青色申告をしていない人にも青色申告の特典などをぜひ知っていただき、一人でも多くの人が青色申告をされるようおすすめます。

34の有利な特典

青色申告者には、所得の計算などを行なううえで、特別の有利な取扱いをしています。これらの特典は全部で三十四ありますが、このうち、一般の方に関係の深いものについて簡単に説明しましょう。

(一) 青色専従者給与

青色申告者と生計をいっしょにしている配偶者やその他の親族で、もっぱら事業に従事している人に支払った給与は、その金額が必要経費になります。もともと、その給与の金額は、あらかじめ税務署に届け出た金額の範囲内で、かつ、その労務の

対価としてふさわしい額でなければなりません。

(二) 貸倒引当金

売掛金などの貸倒れに備え、貸倒引当金勘定を設けて、年末の売掛金や貸付金の合計額の五・五割までの金額を繰り入れた場合、その繰入額は必要経費とされます。

(三) 価格変動準備金、退職給与引当金

商品の値下りによる損失に備えて、価格変動準備金勘定を設けたり、使用人の退職金の支給に備えるため退職給与引当金勘定を設けて、それぞれ一定の方式で計算した金額までの金額を繰り入れた場合には、その繰入額は必要経費とされます。

(四) 更正の制限と理由の付記

青色申告者の申告した所得額や税額を税務署で更正するとき、原則として帳簿書類を調査したうえでなければできないことになっていきます。また、更正する場合は更正の通知書にその更正の理由を付記しなければならぬことになっていきます。

(五) 純損失の繰越しと繰戻し

いろいろな所得を合計して赤字になったときは、その年に青色申告をしていれば、その赤字の金額を翌年以降三年間にわたって繰り越すことができます。また逆に、その年分の純損失の金額を前年に繰り戻して、前年分の税金の還付を受けることもできます。

青色申告の

できる人は

青色申告をすることができる人は、不動産所得、事業所得または山林所得のある人です。新たに青色申告をしようとする人は、原則として、その年の



三月十五日までに青色申告承認申請書を税務署に提出しなければなりません。

税務署では、多くの人に青色申告をしていただくために、青色申告専門の係員を置いて、相談に応じています。特に、はじめて青色申告をされる人で、記帳のしかたなどわからないときは、遠慮なくご相談ください。毎月五日は税の相談日となっておりますので、どしどしご利用ください。

交通事故相談

- 富山県交通事故相談所
富山県庁内 (電31-4111)
毎日 8時30分~17時
- 交通相談所
魚津市民会館内 (電2-1302)
毎週金曜日 9時~16時
- 黒東交通安全協会
警察署内 (電72-1110)
- 入善町心配ごと相談所

- ・毎月 8日 18日 28日
午後1時~4時
- ・場所 入善町中央公民館

行政相談

担当者 細田清之助

行政に関する苦情や要望などについて

- ・毎月 第3火曜日
午後1時~3時30分
- ・場所 役場民生課

福祉相談

老人、児童、母子、身体障害など、すべての福祉相談に応じます。

健康は幸福の泉

□□健康をよるこぶ運動にちなんで□□

富山県国保連合会事務局長

直江重雄

国保はことごと

創立三十周年

秋空のような澄み切った心で飛び起き、すぐ仕事にかかる。朝食をすましてからも、あふれるような気力で終日テキパキと働きつづけると、お腹が空いて何を食べてもおいししいし、夜はぐっすり眠ることが出来ます。

こうして今日も一日心豊かに暮らすことができたならそれほど幸福なことではないと思います。

国民健康保険は、農業や漁業あるいは自営業に従事される町民の皆さんが、病気やケガをされたとき、安心してお医者さんにかかれるようにということで作られた制度で、ことしはちょうど創立三十周年に当たり、人々にたとえればもう壮年期に達した訳です。

国からもたくさん補助金が出され、町の一般会計からもお金を繰り出して、みなさんの国民健康保険税と合わせてこの世帯が切り盛りされていることはご承知のとおりです。

二・五人に一人が

毎月医者にか

ところが、毎月毎月病人が増えて、この会計は大変なことになっていきます。

富山県全体で国民健康保険の加入者は四十五万人ですが、この人たちが月々お医者さんに診てもらおう回数には二十万回のぼっておられます。

ですから、二人半に一人ほどが毎月お医者さんに手を持って

もらっている勘定になり、みなさんが窓口で支払われる三割分を加えると一か月の診療費はなんと五億七千万円という大きな金額になっておられます。

これを入善町の分で見ると、加入者一万五千人で一か月に六千八百回治療を受け、その医療費は約二千万円で、一人当たり県内全市町村の平均をはるかに上まわり、番付では関脇から小結格で、その順位は毎年上の方へ進んでおられます。相撲なら上位になればなるほど給金がよくなり、優勝でもすれば、大変なほうびにあずかるのですが、医療費の上位番付では感心できません。ことに入善町は本年度に入っているからの医療費は、前年度にくらべて二十八パーセント伸び、そのために一人当たりの保険税の本年度分は、五千五百九十八円で富山県の最高を示しておられます。

どんどんふえる

病気やケガ

どうしてこんなにならざるを得ないのか、を一つづつ考えていこう。それについて考えられることは、日本の産業経済が発展し、社会の進歩に反比例するかのようになり、いろいろな病気が次から次々と発生し、脳卒中、ガン、心臓などの成人病をはじめ、イタイイタイ病、水俣病、喘息などといった公害病がふえ、交通事故や工事場などで起こる災害による負傷などがどんどん増加してきています。

心臓の移植手術までが行なわ

れ、医学の進歩は驚くべきものがありますが、こんな新規の病気やケガがふえてはお医者さんもお手あげです。

「医者が足りない」「看護婦が不足だ」「富山に医科大学を作らねばならない」と言われているのも無理からぬことですが簡単に実現できる問題ではなくまた膨大な予算がいります。

病気やケガで苦しんでいる人々には、できるだけよい治療をしてあげねばならないことは当然ですが、このように医療費が急ピッチでふえ、病人が多く出るようでは、国も県も市町村も財政的にいきづまり、私たちが自身も医療費のために生活が大きくおびやかされることは明らかです。

ここで、私たちは静かに考えて見なければなりません。

ムダの多い治療

第一に、治療にムダがないかどうかということですが、

「先生、こんな薬をください。注射を一本してください。」というように患者からお医者さんに注文をつけたら、かかったお医者さんを信頼しないで、一日に二人、三人とお医者さん廻りをする人が少なくありません。また、はなはだしいのは、もらった薬を全部飲まないで、ほっかってしまうことがどれだけあるかしれません。

こうしたムダが医療費全体の二割や三割ではないと言われておられます。このことは、なんとしても患者自身の反省が大切で

す。ぜひこんな点を改めてほしいものです。

また、それにも増して大事な根本的なことがあります。

それは健康のことです。ひとたび体に故障が起き、重い病気にでもなつてしまえばいい。働くことができないばかりか、どんな美食でもただ食膳を飾るだけだし、どんなにきれいな着物や洋服を着ても決して美しくは見えません。ためたお金も淡雪のように消えてなくなります。

診療を受けるということは、大水が出てからあわてて堤防を修理するようなものです。それよりもどんな洪水にも堪え得るような頑丈な堤防を築くことが根本だと思えます。

幸せは

つくりだすもの

この健康の重大性を私たちは忘れていたのではないでしょう。か、もっと予防に注意するともにも、進んで健康体になる努力が必要であり、健康な人は健康であることを喜び、健康に対する感謝の気持ちを噛みしめねばなりません。

知能の進んだ人間が、動物と同じように体がこわれてから大さわぎするようでは恥ずべきことだと思えます。生命の尊さはなににもかえがたいことです。やかましく叫ばれている「人間尊重」は、からだを大切にすることから始めなければなりません。生命力こそ人権の基本であり、自らを重んじ、自らを愛さないで、どうして外に向かって人権を主張することができませんか。

幸せはつくりだすものであり見つけ出すものであり、それは各人の健康について目をさますことだと信じます。「健康は幸福の泉」とあるとは月並みの言葉かもしれませんが、もう一度見直そうではありませんか。



角本君が優勝

熱戦にわく町民相撲大会

第15回町民相撲大会が9月14日、小摺戸小学校校庭で開催されました。成績は次のとおり。

□小学校の部

- ・団体 ①桐山 ②入善
- ・個人 5年 ①腰本直樹②川畑一博
6年 ①谷田賢二②谷二三雄

□中学校の部

- ・団体 ①舟見 ②入善
- ・個人 1年 ①広沢 求②長島和浩
2年 ①大菅 弘②目附和久
3年 ①角本和義②川島和義

赤い羽根 募金運動

10日1日から「赤い羽根国民助け合い運動」が始まっていますのでご協力をお願いします。

□一世帯当り募金額

- ・共同募金 115円
- ・歳末助け合い金 35円
- ・身体障害者福祉資金 10円
- ・社会福祉事業資金 40円

計 200円

技能 を身につけよう

入善高等技能学校
生徒募集

- ・訓練課目 機械 板金 溶接
- ・受付期間 11月1日～30日
- ・試験日 12月15日午前9時
- ・試験場所 入善高等技能学校

青年学級チャ別にむずかしいことせんがいチャ。今日の疲れをいやし明日への鋭気を養う場やチャと、友達に誘われるまま青年学級に出席するように。これから五年目になるが、その間の自分達の学級活動の過去及び現在の反省と、将来の方向について考えなおさなければならぬ。現時点に立たされていると思う。

今までの青年学級での活動は自分達の生活に身近に感じていることがらを学習の柱にして学級活動がすすめられてきた。ところが、経済情勢の変動は多くの農村青年を都会の会社や工場に送り出した。その結果今までの共通の基盤を失い、学級活動の柱がくずされた。

また、太平ムードと労働賃金による現金収入の増大及び娯楽施設の増加は、青年の学習意欲を減退させ、レクリエーションの要求をもたらしした。

それが青年学級、青年団活動にも影響し、学習活動の停滞、レクリエーション中心の活動、伝統という名の年中行事に終始するようにになった。

レクリエーションと年中行事中心の活動のマンネリ化は、青年仲間の減少とともに自分達はこれでいいのか？レクリエーションは楽しいけれど、それだけではなんだかもの足りない。大きな視野にたつて勉強すべきではないのか？。という学習意欲を持つ仲間もあらわれてきている。しかし具体的に何をしたらよいかわからない。

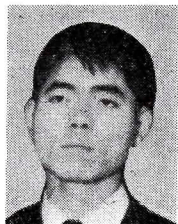
過日、全国青年学級生大会に参加し、研修テーマ「青年と学

習」の各県の代表との話し合いの中で、勉強から、自分達の学習の柱となるものを見出し出してみたい。

青年学級での学習活動は、自分達の要求を正しく導き出すことであり、その要求を実現してゆく道を見つけて出すことであると思う。しかし、全国の青年学級で学ぶ働く仲間は、昭和三十年代の三分の一に減少しているという。そしてそれぞれの仲間の減少に頭を悩ましているのが現状であり、なんとか人集めの問題を解決したいという願いがレクリエーション中心の活動の方向にもっていつてしまおう。

全国青年学級生大会に

参加して



横山青年学級

金光夫

しかし、青年学級に集る青年の多くは何か充実したことを、自分のプラスになる何かを、社会のためになれる何かを求めているのではないだろうか？、単に楽しみだけを求めているのではない。

一人では取り残されるのでは：：という不安感、もつと社会のことを知りたい。そして話し相手、真の友を求めて学級に参加しているという話し合いから発展して、私達はもっと社会人として、家庭人としての学習が必要であると同時に、さらに視野の広い人間になり、社会のことに目をむけ、その上に立つて

る。これは青年の孤独感、不安感を排除し、その中に連帯意識がめばえる。

青年は無限の可能性をもっている。現実的な考え方でなく、未来志向型の二十一世紀に生きるための考え方を身につけたい。

従来からの価値感でなく、青年自身の新しい価値感を求めなければならぬ。この講演で私は、いや私達青年は、青年学級で積極的に学ぶことが必要であり、仲間作りそのものより、私達は何を求め、何をなすべきなのか教えられた。

それは友を求め、幅広い人間

自分の将来を明るくするために、また現在をよりよく生きるために、学ぼうとする意欲を、私達青年は特に持たなければならぬのだと思う。

全国に学ぶ青年仲間も、私達入善町に住む青年も、そうしたい差はない。私達は「レクリエーション的なことにはよく集るが、むずかしい話には果まらな

い。」という考え方に陥ってはいないだろうか？。もっと各自の学ぼうとする意欲を信頼して今後の学級活動を展開して行きたいと思っている。

わずか四日間の研修ではあつたけれど、全国の働きながら学ぶ青年学級仲間と寝起きを共にし、集団生活のなかで協同性、規律性等、協調精神を体得し、また富士山を仰ぐ運動場での運動会、藤山一郎と共に講堂で歌唱、あのわれんばかりの大合唱、キャンドルサーピスでのお国自慢、方言を交えて真剣に語り合った交歓、グループ研究等こうした研究会に参加してみなければ味わえない感激を味わった。そしてこの大会に学び得たものを地域の仲間と共に考えていきたい。

最後に、この全国青年学級生大会に富山県代表の一人に加えていただき、お世話くださった県、町教育委員会の皆様には厚くお礼申し上げます。

みんなで体操を



健康体操で.....
.....からだを強く美しく

自らを愛しましょう

健康が人生・社会・民族にとって大切であることは、いくら強調しても強調しすぎることはありません。

立派な衣服をまとい、りっぱな住宅に住み、おいしいものを食べても、健康でなければ何にもなりません。働くことさえできません。

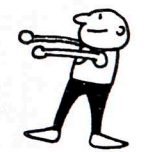
人間は、どんな人でも完全なものではないのです。それだからこそ、欠陥や弱点をいたわらなければなりませんし、また少しでもよくするために努力しなければなりません。

健康体操は、いつでも、どこでも、だれでもできる大衆的な健康法です。毎日毎日、顔を洗うのと同じように、習慣づけ、健康と体力増進をはかりましょう。

一日十分を体操に

健康を保持、増進し、体力を増強するために欠くことのできないものは大筋活動です。その最もよい方法は体操です。

それは道具もいらす



どこでも短時間で簡単にでき、しかも人数に制限がなく、その人の身体状態に応じて強くも弱くもできるからです。おもしろくなく、適当にごまかせるという欠点もありますが、体操は継続して実行しなければ効果はありません。したがって、一人でもやりぬく根性が必要です。そのためには、まず体操の重要性をよく理解すること。はじめは相手をつくって、お互いに励ましてやるとよいでしょう。

生活の中に体操をとり入れましょう。一日十分、体操をやりましょう。

健康体操「つかれをなくす体操」は仕事を終えた後に、スポーツする場合は整理運動として効果あるものです。

この体操は、今月開かれる各地区の体育大会、二十七日の町民体育大会の場に取り入れられる予定ですが、やり方は先に町から金世帯に配布されたチラシ

一匹 百円也

県では、野犬による危害事故防止のために、不要犬を一匹百円で買い上げることになりました。不要の犬の仕末に困っておられる方は、十月二十六日午後一時から三時までの間に(当日限り)役場民生課前へ連れてきてください。

香港カゼ

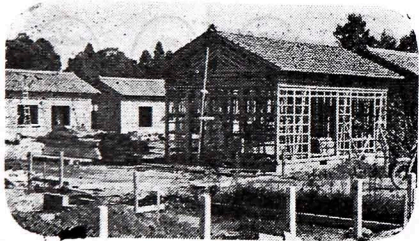
（7） 広報にゆぜん
ホンコンで八月頃から流行している流気は、今までになかった新しい型のウイルスによるもので、この秋から日本でも猛威をふるう心配がでてきました。ところが、予防ワクチンが手に入るのは十一月から十二月になる見込みですので、予防接種を受けるまでは、特に次のことに注意して、ホンコンカゼをはねとばす元気な体づくりには心掛けてください。

胃の検診

近年医学の進歩に伴って、治らない病気はだんだんと少なくなり、もう残るは高血圧症、心臓疾患、ガンなど、いわゆる成人病で、死亡の約半数はこれらの病気によって占められているのが現状です。

社会的にも家庭的にもその中心となつて活躍しなければならぬ人々を襲う、この恐ろしい成人病を早期発見するために、胃の検診車「らいちよう号」が来町します。

検診ご希望の方は、今すぐ申し込んでください。
○検診月日 十一月四日(月)



公 営 住 宅

入居者募集

上野地内に建設中の町営住宅(20戸)の入居者を募集します。

- ・申込先 役場民生課
- ・申込期日 11月1日～15日
- ・資格 控除後の収入月額が2万円以下で、同居親族があること。
- ・公開抽せん日 11月22日

入善町社会体育指導員

●入善町社会体育指導員

- ・入善Ⅱ舟川友良 上田甚一郎
- ・柴垣通子 米沢米吉 尾崎明野
- ・上原Ⅱ上原毅 青木Ⅱ広川
- ・恭毅 飯野Ⅱ上島邦夫 小摺戸Ⅱ松島秀雄 新屋Ⅱ若狭親吉 水野実 棚山Ⅱ大田好雄
- ・横山Ⅱ土居三郎 谷昌嗣
- ・舟見Ⅱ酒井敬 野中Ⅱ橋場久義

市民必携の 民手帳

しめきり 十月三十一日

総務課へ

申し込み 各地区の区長、農協または役場

表紙 差込み式、ビニール製 装てい

資料 最新の資料と豊富な内容

頒価 百円

ポケットに せひ一冊……



10月

十月は——天高く馬こゆる秋——とむかしからいわれていますが、このごろでは、その馬を見るのが少なくなりました。馬はともかく、このよい季節に、おおいに栄養をつけ、十分な運動をして、健康増進につとめましょう。

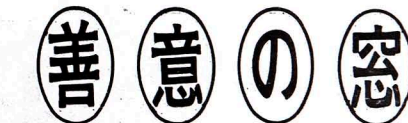
衣 十月はセーターの季節です。色とりどりのセーターを着たご婦人の姿は、なかなか美しいものです。そのセーターを長もちさせるために、ぬいだときにちよっと手入れをしておきましょう。①ぬいだら軽くホコリをはたき出

す。②ヒジがのびていたらカリを吹きかけ、形をととのえて、陰干ししておく。③寝る前にキチンとたたみ、ソデの部分だけフツンの下にしておく。④エリやソデ口を時々ベンジンできれいにしておくなど。

食 十月は、だももの豊富な月です。なしやかき、ぶどうは、いちばんの食べごろで、リンゴとつづぎ、早生のミカンもわたくしたちの口にはいります。

リンゴは生食するばかりでなく、サラダに入れたり、ジャムにししたり、いろいろと加工できます。かきもごまあえにししたり、大根おろしで食べるのもおいしいものです。リンゴやかきをうすく切ってテンブラにあげても、なかなかおいしい味がします。魚介類も、たくさん出回ります。おいしいのは、するめいか、ハゼ、カキ、アカエビなど。

野菜類も、白菜をはじめ、新キャベツ、大根、やわらかい長



あなたかいご芳志を感謝いたします

入善町善意銀行 (8月21日～9月20日)

現金の部

預託(寄附)	内	容
入膳 山本 正勝	5,000円	社会事業資金として毎月
〃 坂東 信子	5,000円	亡夫高義の供養として
〃 入膳11区 つゆくさ	1,000円	謝礼金を寄附
舟見中学校第20回 卒業生 3年C組	700円	同級会残金を寄附
町内 匿名(女)	500円	善意銀行へ
5 件	12,200円	

あちこちを点検して、冬を迎える準備をしましょう。このお仕事は男手です。ついでに家の周囲のみぞのごみなどもきれいにしておきましょう。

新着図書

住 夏中使用していたレブスのカーテンがそのままになっていませんか。夏物の家具なども、早めに手入れをしてしま

いましょう。もう台風心配もないことでしょうか、いためられた住居の



おめでた(出生)

- 住所 保護者 続柄 名前
- 入膳 大林 弘 3男 充
- 青島 大角勝義 長女 典子
- 春日 真岩善夫 長女 優美子
- 東狐 笹島久生 長女 美和子
- 入膳 永井市郎 2男 悟
- 横山 野口勝三 長女 志保
- 君島 室 明 2女 恵
- 八幡 尾山作治 長女 恵
- 下飯野 志摩明雄 長男 哲
- 小杉 高見敏明 長男 英治
- 入膳 吉田信夫 2女 馨
- 下飯野 山田勇市 長女 美鈴
- 下飯野 蛇川春雄 長女 富美恵
- 小杉 杉田恒夫 2男 圭
- 笹原 島瀬 登 長男 寿人
- 入膳 野口輝夫 長男 正明
- 新屋 門山秀男 長女 かおり
- 新屋 吉野賢二 長男 晃

おみやみ(死亡)

- 入膳 板沢 栄 長女 栄子
- 新屋 橋本幸彦 長男 実
- 入膳 上田勝雄 長女 朝子
- 古黒部 広川文三 長男 敏史
- 上飯野 本田八朗 長男 亨
- 下飯野 伊多正義 3男 三喜男
- 荒又 青木大政 長男 智彦
- 林尻 酒井良喜 2男 明広
- 桐山 池原 昂 長女 由紀美
- 芦崎 佐原興三 2女 久美子
- 入膳 曳田佐吉 4男 正男
- 小杉 須沢幸雄 長女 弘美

- 住所 氏名 年令 世帯主
- 吉原 上原 吉藏 80 寿



- 下飯野 井田 光男 善男
- 青木 岩田 政雄 本人
- 桐山 中川 二枝 友信
- 入膳 坂東 高義 本人
- 青島 中野 やす 友吉
- 桐山 扇原 定雄 周
- 上野 宝田 きよ 一郎
- 入膳 池田 知子 俊男
- 目川 杉沢 つぎ 83 与次郎
- 中沢 橋場 与三 本人
- 福島新 若島 みり 甚作
- 八幡 米沢 ぬい 本人
- 舟見 野島 志乃 邦次
- 神林 米原 ヨリ 54 松次郎
- 桐山 長島 ちよ 63 輝正

- 地の底の笑い話
- 現代数学対話
- 新・地震の話
- 趣味の価値
- 芸術とは何か
- 維新前夜の文字
- 瀬石詩注
- 初めて行動があった天才
- インド、パキスタン現代史
- 蛭山芳郎
- 浅野義光
- 岡倉古志郎
- 藤本 武
- 宮沢俊義
- きたみのる
- 江上不二夫
- 田中美和太郎
- 山手樹一郎
- 上野英信
- 遠山 啓
- 坪井忠二
- 協村義太郎
- 池上保太
- 杉浦明平
- 吉川幸次郎
- 大塚幸男
- 宮城音弥